

あとがき

本書は、2013年8月に大阪大学で開催した第7回国際セミナー「現代中国と東アジアの新環境」の大学院・若手研究者セッション「21世紀の日中関係」の内容を整理・改訂したものである。

国際セミナー「現代中国と東アジアの新環境」は、現代中国研究に関わる部局横断的な研究プラットフォームとしての大阪大学中国文化フォーラムが、中国・台湾との大学間研究交流として、中国・南開大学歴史学院、台湾・東華大学歴史学系との共同開催のかたちで2007年以来毎年開催してきた。学校間交流という形式で日中台のアカデミックな対話を実現すること、および地域研究の学際性と歴史学の総合性とのインターフェースを模索することがめざされ、その成果は2012年に中国語（中国社会科学文献出版社）と日本語（大阪大学出版会）として公刊された。

2著において私たちは、国際交流の成果を中国で・中国語で公刊するとともに、さらにそこでの諸論考をもとに、歴史学と諸学との対話を「現代中国の透視」「周辺からの見る」「日本の立ち位置」という切り口からの再構成することによって新たな地域研究の可能性を示そうと試みた。

大阪大学での第7回国際セミナーは、この日中台学校間交流の第二クールとして新たな可能性を求め、大学院生ら青年研究者がそれぞれの研究課題を「21世紀の日中関係」のなかに位置づけながら対話と思索を試みることに、およびリスク社会論を切り口として東アジア社会に共有する課題とその処方を多面的に検討することとし、2つの共通セッションとした。ここにそれぞれのセッションをOUFCブックレットとして刊行し、21世紀東アジアの対話から共棲・共働をめざすささやかな一歩としたい。（田中仁）

追記：

本書は、2011～2013年度科学研究費・基盤研究(B)「グローバル大国・中国の出現と東アジア——学校間交流による学際的研究」（研究代表者：田中仁）の成果の一部である。また2013～2015年度大阪大学未来研究イニシアティブ・グループ支援事業「21世紀課題群と中国」（提案代表者：田中仁）の支援を受けた。